

やまどり

俳人協会
群馬県支部

☆
発行所
高崎市飯塚町737
TEL027-361-0870

上毛新聞社賞に矢野間さん

特選は大沢さん、井田さん

県支部（原田清正支部長）主催の俳句大会が前橋市の上毛新聞社ホールで開かれ、最高賞の上毛新聞社賞には、富岡市の矢野間稲霧さんの「犬の墓蚊帳吊草は蚊帳広げ」が選ばれた。

同大会には同支部の会員だけでなく、県内の俳句愛好者ら98人から196句が応募された。原田支部長が選にあたり、表彰式で「空想ではない実体験の句には力がある。こちらに迫ってくる作品を選んだ」と講評した。

同支部の武藤洋一事務局長が「政治家と俳句」と題して講演。戦前戦後の首相らの句を紹介した。中曽根康弘元首相が詠んだ「したたかと言はれて久し栗を剥く」と、藤波孝生元官房長官の「控えめに生くる幸せ根深汁」の句の背景を説明した。

また、吉岡町の大沢文子さんと、同町の井田なつえさんが特選に選ばれた。



上毛新聞社賞の矢野間さん（中央）と特選の井田さん（左）、大沢さん

秋の自由吟行会開催

令和元年9月22日（日）秋の自由吟行会を開催しました。当日は信越線横川駅に集合し、碓氷関所址に寄り「アプトの道」を「めがね橋」まで吟行しました。

道すがら画眉鳥をはじめ小鳥たちの声や
邯鄲、鈴虫などの虫たちの声を楽しみ、
この場所ならではの「唐花草」や「まま
このしりぬぐい」などの植物を観察しつ
つ会員の懇親を深めた吟行でした。



【唐花草】からはな・そう・サウ
クワ科の多年草。日本の山地に自生。ヒール
に入れるホップとは同一種とされる。茎はつる

をなして他物にからみ、とげ状の毛がある葉は
心臓形で往々3裂。夏、葉腋から小枝を出し、
細花をつける。花は淡黄緑色で、雌雄異株。果
実は松球まつかさ形で、柔らかく緑色。

【広辞苑第六版】



【継子の尻拭い】
ままこのしりぬぐい：ヌグヒ。タデ科の一年草。山野の陰地に生える。茎は細く

【広辞苑第六版】

令和2年度総会は2月16日（日）に開催

令和2年度県支部総会は次の通り開催いたします。皆様の奮ってのご参加をお願いいたします。

日時 令和2年2月16日（日）
午後1時より
場所 上毛新聞社・上毛ホール
(前橋市古市町)

次第一部 総会
二部 講演 本部講師（伊藤肇評議委員、
「若葉」編集長）

総会申し込みガキに氏名（ふりがな）住所、
電話番号を記載の上お申し込み下さい。

問い合わせ・TEL027-361-0870（原田）

春耕 (しゅんこう)

堀越 純

紹介誌

結社誌「風」の沢木欣一先生、細見綾子先生の元で俳句を始め、沢木欣一先生没後、皆川盤水先生が昭和63年5月に「春耕」を創刊。表紙の文字は盤水先生がお書きになったもの。盤水先生没後、棚山波郎先生が主宰を引き継ぎ令和元年12月号で485号となる。朋友誌に「雲の峰」朝妻力先生。「銀漢」伊藤伊那男先生。「あきつ」鈴木大林子先生を抱え、青森から沖縄まで全国各地の同人達によって60以上の句会が開かれています。又吟行会も盛んで鎌倉や深大寺等様々などころで催されており。又俳誌には読み物も多く俳句文法入門や曾良を尋ねて124回「現代の俳句」鑑賞や古典に学ぶ76回はいかい漫遊漫歩の俳諧、佐渡



の話あれこれ自由時間78回や課題詠などや各地の吟行記や和楽のひろば等々編集長暮目良雨のもと春耕誌が毎月発行されています。表紙絵は画家の原田真理先生のお描きになったもの。新年の俳句大会において主宰選の天・地・人に選ばれた人に渡されます。

今年の五月には「雲の峰」と合同で吉野の桜と細見綾子生家を一泊で訪ねバス二台が満員でした。九月には墨田川の屋形船での句会と納涼で遊び十月には秋期鍛錬俳句会が都内の様々な所で開催されています。「春耕賞」20句出しの締め切りも終り今各選者の方々が選考に当たっています。高幡不動尊での新年俳句大会・同人総会の席で発表されます。主宰は俳人協会の理事

長を二期勤め又村上鬼城俳句大会の選者も勤めております。

未来図 (みらいず)

林 恵美子

『未来図』は鍵和田柚子先生主宰の俳句結社です。先生は府中市にお住まいで、発行所は国分寺市にあります。

昨年令和元年に35周年を迎え記念大会と祝賀会が京王プラザで盛大に執り行われました。私は柿沼あい子先生の薦めで『麻苧』終刊後、平成26年に入会しましたので、まだ日が浅くよく分からないのですが『未来図』という名に惹かれて分厚い句誌を開きました。

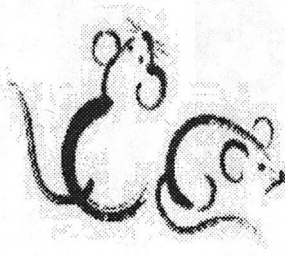
そこには柚子先生の発想の雄



大さと、磨かれた精神性、洗練された言葉運び、全てが輝いており、痛く感動いたしました。そして、直ぐ入会しました。

会員は400名近くおり、会員の多くは俳人協会で活躍する方ばかりのお名前が連なっております。支部も日本各地、福島県から鹿児島県まであります。感動的な句が沢山載っていて、内容の企画および充実度は上々で素晴らしいです。

表紙デザインは、小山喬司氏、絵はオーブリーピアスリー(イギリス)の作品によるものです。月末に句誌が届きますと、直ぐに届いた日と、その日の出来事を表紙にフェルトペンでメモしてしましますがおしゃれでエキゾチックな絵は『未来図』ならではのもので。





薪束の胴締め

寒のにはかなり

鈴木 節子

中之条町 水出かをり

掲句は作者の沖時代初期の作品で、初代沖主宰能村登四郎氏命名による第一句集『夏のゆくへ』の劈頭の句である。薪は太い木などをきちんと割ったり切ったりして、太さ、長さを揃え、燃料としたもの。その「薪束」の胴を荒縄で力一杯締めている人が見えて来る。刺すような寒気の中、冷たく横たわる「薪束」。それを締め上げる人の荒い白息。この人物が作者自身であるならば、この景は読者の実感として、より生き生きと心に迫って来るであろう。林翔氏は『夏のゆくへ』の跋文の中で、作者の俳句と、頭でのみ作った句が大きく異なるのは、作者が即物詠を熟達した後、沖の句風に順応していったからに他ならない、と評価し

ている。この句集の他に、『秋の卓』『冬の坂』『春の刻』。自註句集『鈴木節子集』がある。その後の略歴としては、昭和62年、詩と俳の融合を理想と掲げる鈴木鷹夫主宰の「門」創刊に同人参加。平成25年、鈴木鷹夫死去により、「門」主宰を継承し、現在に至っている。

掌中の

柳絮失せをり紫禁城

堀口 亜紀子

高崎市 石井 昭子

紫禁城は世界最大の木造建築物群として世界遺産になっている北京の名所。明、清両朝の宮城として造営され、今は故宮博物院の名で一般に開放されている。

さて掲句の柳絮だが、日本で平安京を造営したとき、唐の都長安を手本とし、都大路に柳と桜を植えたと言われる。古今集の素性法師に次の歌がある。

見わたせば柳桜をこきまぜて
都ぞ春の錦なりける
後者はわかるが、前者は、冬

が長く春を待ち望んだ大陸の人々が、まず芽吹く柳に夢を託したことには倣ったと言われる。北京も北緯40度、待春の情はひとしおであろう。その柳が実を持ち綿毛と共に空中を浮遊する儚さと美しさ。作者が大事に持っていた柳絮は、ふと気づけばいつの間にか消失していた。かつて見たこともない壮大なスケールを持つ宮城を目前にして。

柳絮は日本から持参した予備知識や想像力の象徴かも。それらはとてつもない現物を目前にして跡形もなく消えた。柳絮と紫禁城の取合わせが絶妙。知と情が見事に融合した佳句と思う。作者は現在三浦姓、「椽」の主宰をしておられる。

数へ日の熊手や

木の葉噛みしまま

堀口 星眠

富岡市 矢野間 妙子

私は新年よりも押し詰まった12月が好きです。その先の「数へ日」の季語も胸がキュンとす

るような素的な季語だと思えます。

庭の落葉を掻いてまだまだ次の日も次の日も散り積るであろう落葉。先生の御句は主に椽落葉かと思われませんが熊手はまだ数日落葉を掻く予定。やがて新しい年がやってきます。その頃には大方落葉も尽くして広い庭もさっぱりときれいになることでしょう。

「木の葉」としたことで、季重ねにならず素晴らしい句だと思います。

椽の木の聳える先生のお宅へ長い年月の間何度もお伺いした頃のことになつかしく思い出されます。

わが家も木々が生い繁って落葉季は大変です。

埋もるる思ひに落葉

掃きあたる 妙子

今は熊手もカーテンクリーナーの名でホームセンターなどで売られています。昔の竹を曲げて作ったものの方が食い込みも少なく趣もあり良かったなどと思っております。

俳人協会主催（朝日新聞社後援）の全国俳句大会は、全国的な規模の俳句大会です。会員以外の一般の方も投句・出席できます。

日時：令和2年9月15日（火）正午開場、午後1時開会（入場無料）

場所：有楽町朝日ホール・東京都千代田区有楽町2-5-1有楽町マリオン11階

（JR有楽町駅中央口または銀座口・地下鉄銀座駅C4出口・地下鉄有楽町駅D7a・D7b出口）

【事前募集】

要項：二句一組へ未発表作品。旧かな表記。所定の用紙を使用。旧かな組でも可。用紙はこちらからダウンロードしてください。

投句料：一組1000円（小為替又は現金書留）

締切：令和2年4月15日

送付先：〒169-8521

東京都新宿区百人町3-28-10

俳人協会「全国俳句大会」係

電話03(3367)6621

選者：有馬朗人・茨木和生・今井聖・今瀬剛一・大石悦子・大串章・岡田日郎・小川軽舟・小澤實・榎未知子・角谷昌子・柏原眠雨・片山由美子・栗田やすし・古賀雪江・小島健・佐怒賀直美・鈴木貞雄・鈴木しげを・染谷秀雄・鷹羽狩行・棚山

第59回全国俳句大会

波朗・辻田克巳・徳田千鶴子・中原道夫・仲村青彦・西嶋あさ子・西村和子・西山睦・野中亮介・能村研三・福永法弘・藤本美和子・星野恒彦・正木ゆう子・松尾隆信・三村純也・村上喜代子・山崎ひさを（50音順）

表彰：大会賞・秀逸賞・各選者の特選賞

【当日句会】 要項：大会当日参会者より1句を募集。

投句料：無料

締切：午後1時

選者：伊東肇・角谷昌子・中西夕紀・西村和子・暮目良雨・森岡正作（50音順）

賞：各選者の特選及び入選

☆募集句は、予選を行い、大会終了後応募者全員に入選作品集をお送りします。投句料の受領証は発行いたしません。

☆類句及び二重投句（すでにほかの俳句大会、あるいは結社誌・雑誌などに発表した句）については、入賞を取消すことがあります。

☆入選作品は、俳人協会のホームページに掲載することがあります。

☆車椅子での入場も可能。前もってご連絡下さい。

主催 公益社団法人俳人協会
後援 朝日新聞社

トビックス

21回確氷峠紅葉の俳句大会が11月3日に確氷峠くつろぎの郷において開催された。今年より俳人協会県支部長の原田清正さんが選者になり応募句、当日句の選を行った。応募句特選は「坂本は坂の宿場路水澄めり」（安中市 中山恵子さん）当日句特選は「隧道を抜けて紅葉の駅舎跡」（高崎市 石井昭子さん）が選ばれた。

こらむ・したりお

今年は令和2年。西暦で2020年と言うと、どうしても「東京オリンピック」という言葉が続く。昭和39（1964）年の五輪は戦災からの復興が掲げられたが、今度は震災からの復興だ。56年前は体操、レスリング、女子バレー、重量挙げなどで日本勢の活躍が目立ったが、柔道の無差別級で立ち上がったオランダの巨漢ヘーシンクの強さばかりが目につき付いている▼令和2年は子年である。十二支の始まりの年はどんな年だったか。可能な限り遡（さかのぼ）ってみた。平成20（2008）年Ⅱリーマンショック、株安7162円90銭。同8（1996）年Ⅱ小選挙区比例代表並立制スタート。携帯電話契約者急増。昭和59（1984）

謹賀新年

令和2年元旦



県鳥・やまどり

年Ⅱ1万円札が福沢諭吉に。同47（1972）年Ⅱ沖繩返還。日中国交正常化。同35（1960）年Ⅱ日米安保▼同23（1948）年Ⅱ新制高校スタート。サマータム実験。同11（1936）年Ⅱ2・26事件。プロ野球始まる。大正13（1924）年Ⅱ甲子園球場完成。選抜中学野球大会。明治45・大正元（1912）年Ⅱストックホルム五輪に日本初参加。明治33（1900）年Ⅱ未成年者喫煙禁止法公布。同21（1888）年Ⅱ市制町村制実施。同9（1876）年Ⅱ官庁土曜半日、日曜休み▼多くの出来事があったが、共通項がある。それは「後世に残る節目」である。小選挙区制も、日中国交正常化も、甲子園も…。もう一つ特筆すべきことがある。それは首相が交代する年であるということだ。明治18（1885）年に伊藤博文が首相になったから子年は12回。昭和59年（中曾根康弘首相）以外はすべて交代している。今年の子年は「チュー目（もく）」である。

(M)